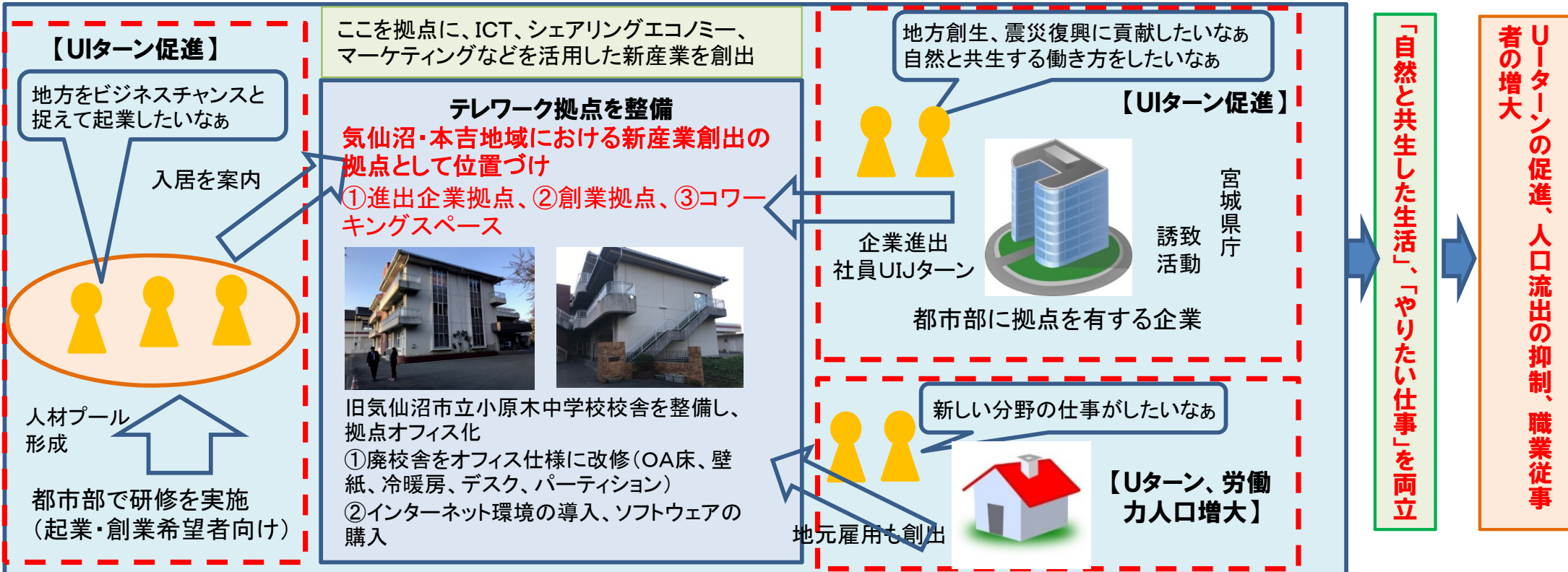


平成29年度予算ふるさとテレワーク推進事業
復興ICT拠点整備先導プロジェクト
 宮城県気仙沼市（宮城県気仙沼市）

コンソーシアム名	気仙沼市ICT拠点整備コンソーシアム			
コンソーシアム参加機関名 (下線は代表機関)	<u>気仙沼市</u> 、 <u>気仙沼商工会議所</u> 、 <u>本吉唐桑商工会</u> 、 <u>気仙沼信用金庫</u> 、株式会社LASSIC、株式会社R&P CONSULTING、タイムカプセル株式会社			
地方移動者数	従業員：6人	個人：1人	地元ワーカー数	従業員：3人 個人：未定
事業概要	市内学校跡地施設である旧気仙沼市立小原木中学校校舎を改装整備し、都市部からの進出企業、起業創業者等の事業拠点とする。これによって都市部からの企業進出やUターン者・地元在住者による起業・創業を円滑化することで、職種の幅を広げ、人口減少への対応、新産業の創出を行う。また、本事業で整備する拠点を、当市における新産業創出の拠点として位置づけ、ICT産業やシェアリングエコノミーなどの新たなビジネスが将来にわたって生まれ続けるための原動力とする。			



平成29年度予算ふるさとテレワーク推進事業
復興ICT拠点整備先導プロジェクト
宮城県気仙沼市（宮城県気仙沼市）

■整備した拠点の概要

名称：小原木ICT拠点（仮）

住所：宮城県気仙沼市唐桑町館68

アクセス：JR気仙沼駅から車で20分。宮城県の北東端に位置した風光明媚なロケーション。

利用対象：ICT企業用サテライトオフィス5室（10名収容）、IT人材育成用コワーキングスペース1室（24名収容）

業務内容：市内学校跡地を改装整備し、都市部からのICT技術を利用する企業、起業創業者等の事業拠点とする。



■整備完了後の取組内容の概要

拠点の運営計画

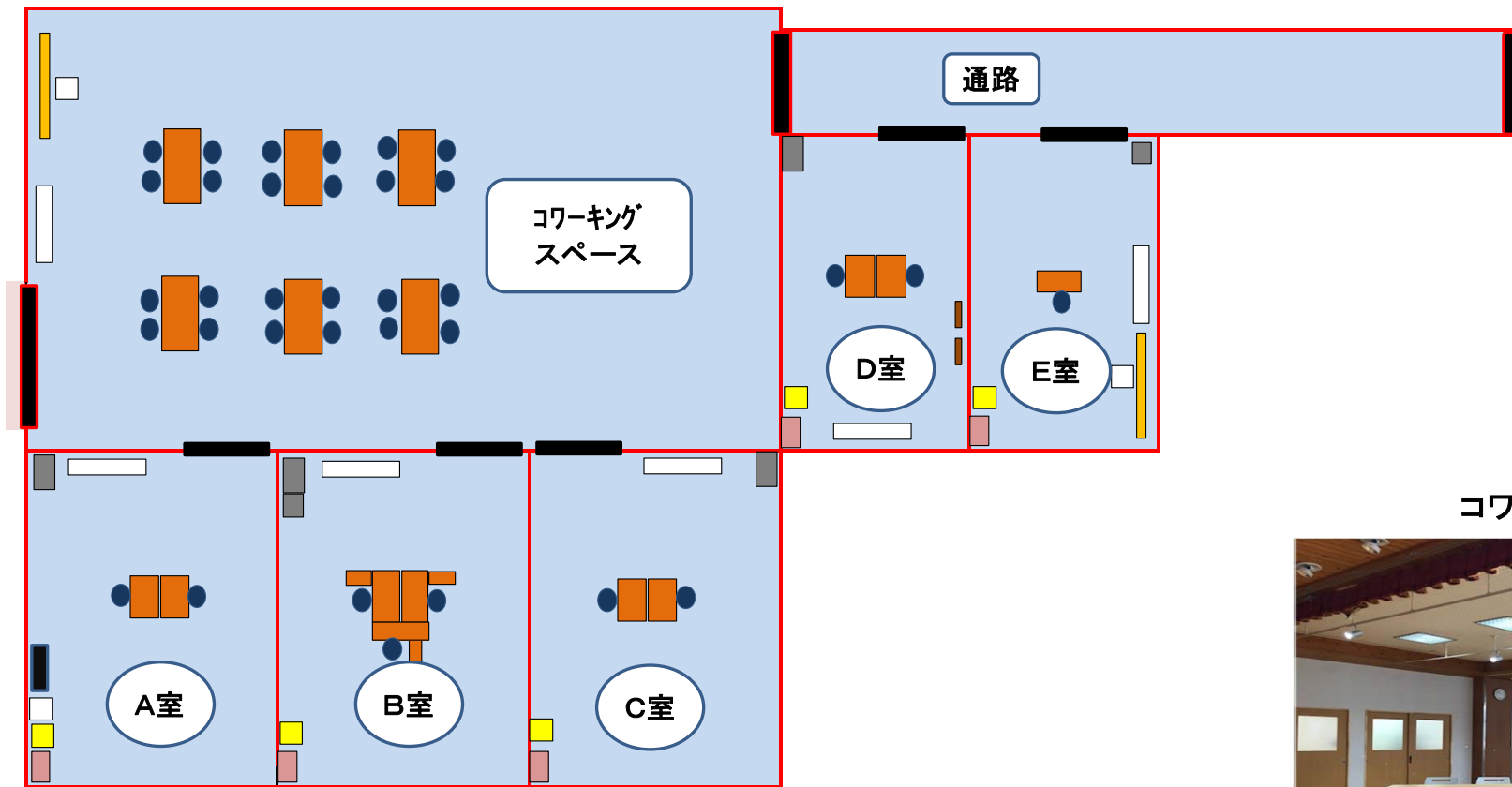
本拠点では補助事業終了後も施設の運営を継続し、新たな入居企業の募集を行い、利用者の増加を図る。その際、宮城県とも連携し、必要に応じて気仙沼市担当者も都市部企業に対して折衝を行う。

また、シェアリングエコノミーをはじめとしたビジネスチャンスの創出やICT教育の成果として事業を拡大・開始する者、さらに入居企業から独立を目指す者、当市創業補助金を活用して市外からUIターンして創業する者に対しても、入居を促す予定としている。

地方移住者数や地元ワーカー数の年度ごとの目標人数等

区分	H30年度	H31年度以降
市外からの移住者	2人	0人
長期出張者	1人	1人
地元ワーカー	3人	3人

(参考①) 整備した拠点について



入り口



コワーキングスペース



企業の部屋



企業の部屋



空間共有システム(テレビ会議システム)を用い、地方のクライアントや支店との戦略会議を予定

各企業が独自のインターネット回線を引き込み、ICT事業を営む

これまで、気仙沼市にはなかったICT企業を誘致することで、子どもからシニア世代にIT人材育成講座を開催する。入居するITを活用したマーケティング企業と市内の事業者とのマッチング会議を開催し、既存事業のさらなる発展を目指すクリエイティブスペースとして活用する。